初滑り '82.11.28

初滑り。たとえゲレンデといえども初滑りという言葉は僕たちにとってはズシーンと重い感激を感じるものだ。

11月連休積雪"ゼロ"から一週間、遂にといおおか、やっとというべきか、新雪、待ちに待った新雪が山々に降った。

他人はどうでも、自分だけは滑りたいという一心からコモさんを誘って天神平へ初滑りに出かけた。番線が変った長岡行を待っていると、G.ゼフィルスの阿部氏、大塚さんの両名に会う。一緒のボックスに乗った。同じ車輌に佐田氏も乗っており土合迄ずっと話をし通しだった。

大分遅く出た為、ロープウェーは1時間程待たされたが新雪の天神平へ登る。今野さんと蔵田さんは昨日から来ており、坂井氏とさんざん新雪を滑ったとのことだった。また代表の伊藤さんと梅原さんも来ておりにぎやかな初滑りとなった。

山スキーヤーという虫が動き始めた冬のむしの"蓑蛾"がこの日のようだった。東京雪技会の女性2人、都取山の会の鈴木さんと安藤さんとも一緒だった。

昨日は全てゲレンデが新雪で楽しかったという話を聞いてがっかりしたが、昨日夜の新雪が天神リフトの右側に残っておりそこだけを中心として、僕ら日帰り組はスキーの感触を取り戻すべくがんばった。

この日の天神平は空前のこみようで、リフトには長い長い列が出来てしまっている。当会の6名とG.ゼフィルスの方2人と一緒に新雪を4回程滑るともう新雪とはいえなくなってしまった。

たった4回でも僕たちは満足して、混雑の激しいゲレンデにあいそをつかし早々に下山した。

次の初滑りも新雪が滑れることを祈りつつ新幹線には目もくれずどん行で帰京した。

当会の旗は良く目に付くらしく、いろいろな方から声をかけて頂いた。別にはずかしいことでもないので、会員の皆様には堂々と旗をひるがえして新雪のウエーデルン(?)に挑戦してみて下さい。ころぶのも山スキーには重要な技術であることも知っておいて下さい。

なにはともあれ初滑り万々歳の一日だった。

メンバー：今野桂子、蔵田道子、伊藤頌志
梅原彩輝、小森宮秀昭、菅沼博　6名